

平成 29 年 9 月 6 日

ふくしま^①未^②来^③学^④

福島大学 ふくしま未来学（COC 事業）
地域実践学習「むらの大学」フィールドワーク実施のお知らせ
【 4 泊 5 日 × 2 地域（南相馬市小高区 / 川内村）】

日頃から本学に多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

福島大学では、原子力災害からの地域再生をめざす「ふくしま未来学」を平成 25 年度からスタートしました。平成 26 年度からは、南相馬市と川内村をフィールドとして、地域課題を実践的に学ぶ授業「むらの大学」を開講し、学生と住民がともに学ぶ、交流機会の創出をめざしています。

本授業は、学類の枠を超えて全学生が受講できます。見聞だけの体験にとどまらず、地域に対する知識を習得していきながら、企画や実践を通じて地域への理解を深め、課題解決の糸口を探していくプログラムで、**今年で 4 期目**になります。

今年度は、**1 年生 64 名**（南相馬市 32 名 / 川内村 32 名）が受講し、年 4 回程度、地域を訪れるフィールドワークを行います。今回は、4 泊 5 日のフィールドワークを南相馬市小高区と川内村のそれぞれの地域で行い、受講生が住民との交流を深めながら、地域の魅力や課題を発掘し、これから自分たちに何ができるかを考えます。

つきましては、ぜひとも当日に取材していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

記

<川内村フィールドワーク>

- 日程：2017 年 9 月 7 日（木）～11 日（月）
- 行き先：双葉郡川内村
- 参加者：「むらの大学」受講生 川内村班 32 名（1 年生）
川内村フィールドワークの詳細は別紙（行程）をご覧ください

<南相馬市フィールドワーク>

- 日程：2017 年 9 月 26 日（火）～30 日（土）
- 行き先：南相馬市小高区
- 参加者：「むらの大学」受講生 南相馬市班 32 名（1 年生）
南相馬市フィールドワークの詳細は別紙（行程）をご覧ください

【問い合わせ先】

福島大学ふくしま未来学(COC)推進室事務局
Tel：024-504-2850 / Fax：024-504-2849
当日の連絡先：080-2844-9501（南相馬市 / 新田）
080-8202-2831（川内村 / 高橋）

地域実践学習「むらの大学」川内村フィールドワーク

【目的】 「農業」「歴史・文化」「生活」の各テーマにおける川内村の地域課題をさらに探求する。

- **農業班**：震災と原発事故から6年が経つ田畑の状況や農家の担い手の動向を調べ、新しい農業6次化の動きを探る。
- **歴史・文化班**： 草野心平と村民の交流から、川内村の歴史文化とその魅力を探究する。
伝統芸能三匹獅子舞の意味と村民の想いをたどり、保存継承について探究する。
- **生活班**：主に医療・福祉・教育分野で、震災と原発事故から6年を経た村の生活の変化を探究する。

【行程】 以下は、取材にお越しいただきたい主な行程となっています。
そのほかのプログラムや詳細はお問い合わせください。

	時間	内容	場所
1	9月7日(木) 10:00～11:00	フィールドワーク開講式 ・遠藤雄幸村長講話「村づくりの現状とこれから」	川内村役場 川内村大字上川内字早渡 11-24
2	9月7日(木) 13:30～15:30	草野心平の足跡を探り、天山文庫の利活用を考える ・天山文庫管理人 志賀風夏さん、役場担当者からお話を伺い、天山文庫の利活用を考えます	天山文庫 川内村上川内早渡 513
3	9月8日(金) 10:30～15:00	ワインぶどう栽培に賭ける想いと現状を知る ・ワイン推進協議会会長 遠藤公明さんと地域おこし協力隊 横山克幸さんにお話を伺います ・ワインぶどうの剪定のお手伝い	ワインぶどう園場 川内村上川内大平
4	9月9日(土) 13:30～15:30	エゴマの葉の収穫体験 ・6月に定植をして育ったエゴマの葉を収穫します ・(株)緑里 河原修一社長とエゴマの商品開発について意見交換を行います	川内小学校前のエゴマ畑 川内村上川内沼畑 125
5	9月9日(土) 17:30～20:00	第一行政区 収穫祭(豊年おどり) ・住民とともに学生が竹でつくる「流しそうめん」企画でお祭りを盛り上げます	第一行政区集会所駐車場 川内村上川内前谷地 109-2
6	9月10日(日) 12:30～16:00	エゴマの葉の6次化商品づくりをめざした試作 ・9日に収穫したエゴマの葉を使い、住民の方々と試作品づくりに取り組みます	いわなの郷 調理体験室 川内村上川内炭焼場 516
7	9月11日(月) 13:30～14:45	フィールドワーク閉講式 ・商工会会長 井出茂さんに商工会における村おこし活動の取り組みを伺うとともに、4日間で見聞きしたことを共有し、学生と意見交換を行います	コミュニティセンター 川内村上川内小山平 15

受講生は、この4泊5日のフィールドワークを経て、その後は、理解を深めた村の現状をまとめるとともに、村内外での情報発信の活動などを行っていきます。

地域実践学習「むらの大学」南相馬市小高区フィールドワーク

【目的】 地域の人や活動を通じて小高に「あるもの」や地域課題を見つけ、地域との関わりを深める

- **農業班**：農業再開に向けた取り組みと、農産物への安心回復に向けた取り組みから、農家さんの想い と 今後の農業のカタチを探る。
- **歴史・文化班**：小高区にもともとあった文化やお祭りの保存・継承の取り組みから、住民のアイデンティティを探る。
- **生活班**：帰還した人も帰還していない人も、移住者、子どもたちも誰もが安心して暮らせる、小高区だからこその豊かさ、コミュニティを探る。

【行程】

	時間	内容	場所
1	9月26日(火) 10:00～14:00	小高でできることは何か？これからのフィールドワークに向けて ・小高ワーカーズベース和田智行氏の講話 ・ワークショップ	浮舟文化会館 (小高区本町2丁目89-1)
2	9月27日(水) 9:00～15:00	あるもの探しをしよう！ ・エリアごとにグループで町歩きをしながら、学生の目線で小高に「あるもの」を見つけていく。	小高浮舟ふれあい広場 (小高区本町1丁目43) →小高駅周辺→小高浮舟ふれあい広場
3	9月29日(金) 9:00～14:00	稲刈り体験 ・5月に学生が植えた餅米の稲刈りをし、有機農家 根本洸一氏の話を伺う。 (収穫した餅米で冬に餅つきを行う予定)	小高区耳谷
4	9月30日(土) 13:30～14:45	高校生との交流と意見交換 ・小高で活動している高校生団体 LLO のメンバー等とそれぞれの取り組みにや想いについて意見交換をし、BBQをしながら交流を深める。	小高駅周辺

そのほか、班ごとにテーマにそって様々な方から聞き取りを行う。

- ・ 農業班：小高区役所産業建設課、農業高校、花卉栽培、農業法人、行政区長、6次化 等
- ・ 歴史・文化班：野馬追関係、民話／伝説、民族芸能、神社 等
- ・ 生活班：小高区役所地域振興課、仮設住宅、公営住宅、I/Uターンの方、高齢者、自立支援所、ものづくり 等